

# 【第1部】中小企業様向け プログラム型プロジェクトのメリット

プログラム型プロジェクトの価値と参加の仕組み

第2回カーボンクレジット創出セミナー  
2026年10月6日

クレアトゥラ株式会社  
Creattura Co., Ltd.



Creattura



# 会社概要ーミッション・ビジョン・バリュー



**Creattura**

## <Mission>

**To preserve and regenerate humanity's natural heritage for future generations**

かけがえのない自然を次世代へ

## <Vision>

**To pioneer innovative climate solutions utilizing technology and climate finance,  
in order to reduce greenhouse gas emissions and protect our planet's natural capital.**

脱炭素社会の実現と自然資本の回復へ  
テクノロジーとカーボンファイナンスを駆使し、先進的なソリューションを創造します

## <Values>

**Do the right thing, Own the outcome, Think beyond carbon**

# 会社概要

|       |                                                                                                   |      |                                                                                                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称    | クレアトゥラ株式会社                                                                                        | 設立   | 2022年7月4日                                                                                                                                                             |
| 代表者   | 代表取締役CEO 服部 倫康                                                                                    | 資本金  | 6億円                                                                                                                                                                   |
| 本社所在地 | 東京都中央区日本橋富沢町10番13号<br>WORK EDITION NIHONBASHI 7階                                                  | 株主   | 主要経営陣、DBJキャピタル株式会社、三井住友海上キャピタル株式会社、日本ベンチャーキャピタル株式会社、ONE Innovators（株）、東京瓦斯（株）、Nitterra 水素の森ファンド（運営者：グローバル・ブレイン株式会社）、TOKYU-CNST GB、Innovation Fund（運営者：グローバル・ブレイン株式会社） |
| 取引銀行  | りそな銀行 室町支店<br>商工組合中央金庫 本店<br>日本政策金融公庫 東京中央支店<br>三井住友銀行 麹町支店<br>三菱UFJ銀行 日本橋支店<br>住信SBIネット銀行 第一法人支店 | 主な業務 | カーボン・プロジェクト開発（国内外）<br>気候変動対策推進コンサルティング<br>カーボンドレジット関連SaaS提供<br>カーボン・クレジット取引                                                                                           |

# 弊社の特徴

豊富な実績・人材に裏付けられた質の高いサービスを提供しております



## 取引実績

約160万トンの  
カーボンプレジット・  
再エネ証書の販売実績  
(22年7月-26年6月)

\* 再エネ証書は各国排出係数によりCO2に換算



## クレジット創出の知見

多様な方法論を用いた  
Jクレジット申請等経験

\*社員の有する経験、および、自社開発分含む。EN-S-001、EN-S-002、EN-S-004、EN-S-006、EN-S-007、EN-S-012、EN-S-039、EN-R-001、EN-R-002、AG-004、AG-005、FO-001

民間JCM開発経験

Jクレジット・  
JCM方法論提案・採択経験

\*社員が有する実績含む



## テクノロジーの活用

IT/DXチームの保持による  
カーボンプレジットに特化した  
システム・分析技術の  
開発能力

カーボンプレジットに関する  
特許取得の実績  
(2件の取得と2件の申請)



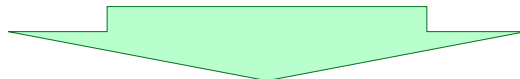
## グローバルネットワーク

12カ国・地域からの  
多様な人材  
(26年9月時点)

9カ国・地域のパートナーを  
通じた業務・取引実績  
(26年9月時点)

# 現状の課題と解決に向けて

- 現状の地域の課題：全国各地で環境価値が埋もれており、有効活用されていない
  - ・ 家庭/中小企業/自治体(公共施設)など、コスト削減等を目的に省エネ・再エネ設備等の導入は進んでいるものの、環境価値まで有効活用されていない。
- 中小企業がクレジット化に取り組む課題：
  - ・ 登録・認証に係る手続きが複雑かつ時間を要するため、事務的負担が大きい。
  - ・ 自社でプロジェクト化するには、専門ノウハウが必要であり、かつ毎年100万円規模の費用が発生する。
  - ・ 費用をペイする規模感の取組を行う必要があり、自社の取組のみでは、費用を賄いきれないリスク大。
- クレジット創出に取り組むべき背景：
  - ・ GX-ETS（排出量取引制度）の本格稼働を考慮すると、大企業ではクレジットを確保することが必要。
  - ・ 一方、コスト削減を優先する中小企業等にとっては、金銭化することでメリットを享受可能。
  - ・ 両者にとってwin-winの関係性を構築できる状況にあるため、中小企業が参加しやすい仕組みを構築することが重要。



クreatウラを事務局とする「カーボン・シナジー・コンソーシアム」が  
全国対象のプログラム型プロジェクトを複数運営・管理！

**中小企業等がクレジット創出活動に参加しやすい仕組みを構築！**

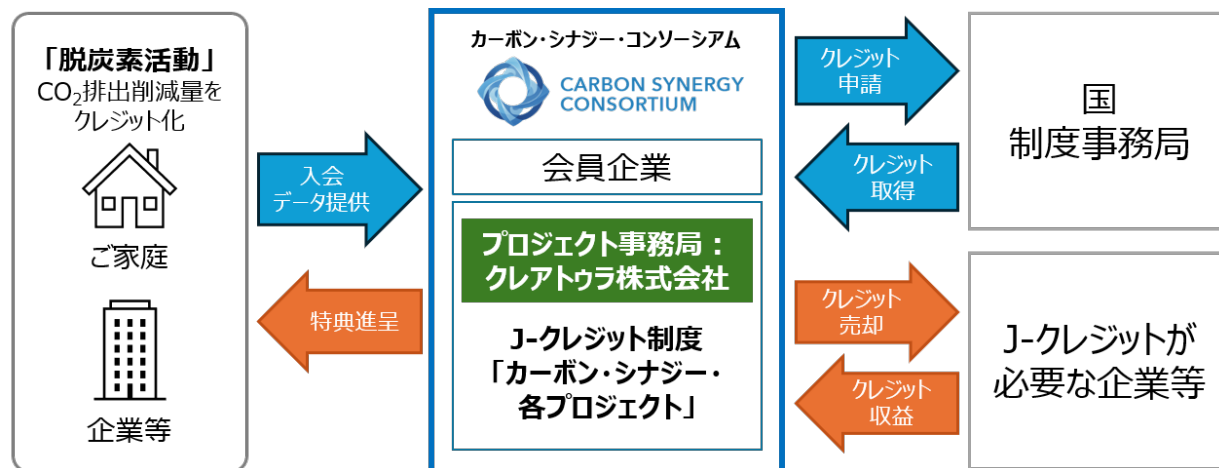
# カーボン・シナジー・コンソーシアムとは？



(URL) <https://www.carbon-sc.com/>

- » 事務局：クレアトゥラ株式会社
- » 設立日：2025年7月18日
- » 目的：各地域にて実施している脱炭素活動において、環境価値が発生しているにも関わらず、その価値をカーボンクレジットに出来ていないという課題があると考えている。その課題解決に向けて、各地域にネットワークを持つ会員企業とともに、地域に埋もれている環境価値を発掘・J-クレジットに変換し、その売却益を地域に還元することにより、地域の脱炭素活動の加速化と新たな地域創生の枠組みを構築してまいります。

✓ 全国の様々な業種の企業様と連携してクレジット創出に取り組んでいます！



コンソーシアム会員企業



# 保有するプログラム型プロジェクト一覧

様々な設備からのクレジット創出に対応しております！

登録プロジェクト（随時、方法論を追加予定）

| 番号   | 方法論      | プロジェクト概要                  | プロジェクト名称                    | 登録申請日      | 認証開始日      | 備考           |
|------|----------|---------------------------|-----------------------------|------------|------------|--------------|
| P228 | AG-005   | 水稻栽培における中干し期間の延長          | 水田メタン削減プロジェクト               | 2023/10/16 | 2023/1/1   |              |
| P381 | EN-R-002 | 家庭・事業所における太陽光発電設備の導入      | カーボン・シナジー・太陽光プロジェクト         | 2025/7/30  | 2025/8/1   | 太陽光発電設備（蓄電池） |
| P383 | EN-S-007 | 家庭におけるコージェネレーションの導入       | カーボン・シナジー・コージェネレーションプロジェクト  | 2025/8/25  | 2025/8/26  | エネファーム       |
| P385 | EN-R-001 | 事業所における木質バイオマスボイラーの導入     | カーボン・シナジー・木質バイオマスボイラープロジェクト | 2025/8/26  | 2025/9/1   |              |
| P398 | EN-S-006 | 事業所における照明設備の導入            | カーボン・シナジー・LEDプロジェクト         | 2025/10/22 | 2025/10/23 |              |
| P399 | EN-S-001 | 家庭・事業所におけるボイラー設備の導入       | カーボン・シナジー・ボイラープロジェクト        | 2025/10/22 | 2025/10/23 | ボイラー、エコジョーズ  |
| P423 | EN-S-004 | 家庭・事業所における空調設備の導入         | カーボン・シナジー・空調プロジェクト          | 2026/1/19  | 2026/1/19  | 電気エアコン、GHP   |
| P449 | EN-S-039 | 省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修 | カーボン・シナジー・省エネ住宅プロジェクト       | 2026/5/20  | 2026/5/20  | ZEH、ZEH-M    |

# 「プログラム型プロジェクトを活用したカーボンクレジット創出支援事業」

出典：東京都HP

## 本事業においては、空調設備からのクレジット創出に重点的に取り組んでいます！

報道発表資料：2025年11月19日

産業労働局

新規事業 小さな排出削減等を取りまとめてカーボンクレジットを創出！ 今、全国で注目！「プログラム型プロジェクト」を運営する事業者を決定しました！



東京都では、小規模な排出削減活動等を取りまとめてカーボンクレジット【注】の創出を目指す事業者を支援する「プログラム型プロジェクトを活用したカーボンクレジット創出支援事業」を実施しています。このたび、東京都と協定を締結し、クレジットの創出に取り組む事業者を採択したのでお知らせします。

【注】カーボンクレジットとは、省エネルギー設備の導入や森林管理の取組などによるCO<sub>2</sub>の排出削減量や吸収量を、第三者機関による検証を経て、企業等の間で取引できるよう認証したものです。

採択事業者は、今後、都内中小企業等の排出削減活動等を取りまとめてクレジットを創出するとともに、削減等の成果に応じた参加者への利益の還元を目指します。自社の排出削減等の取組をクレジット化したいとお考えの皆様は、ぜひお気軽に各事業者へお問い合わせください。



### 空調設備の導入 EN-S-004

クレアトゥラ株式会社

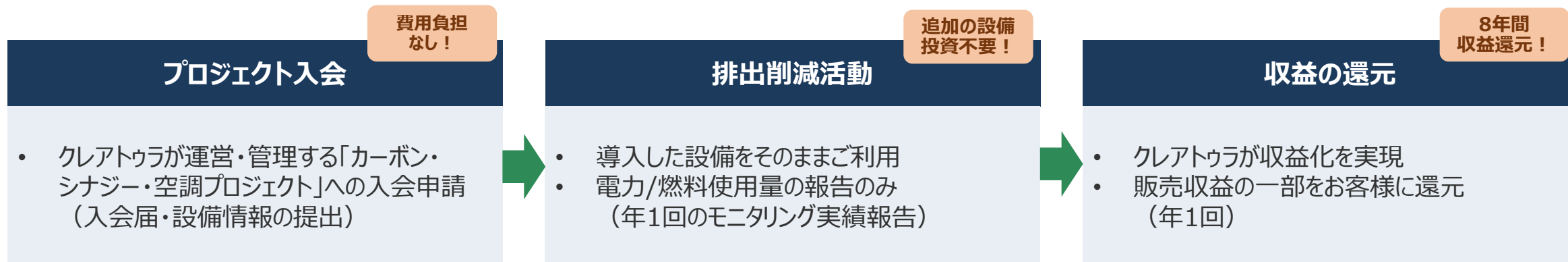
・ 一般社団法人首都圏産業活性化協会

### プロジェクトの概要

クレアトゥラ株式会社では、一般社団法人首都圏産業活性化協会と連携しながら、高効率な空調の導入に取り組む中小企業等を募集しています。具体的には、事業所や店舗等に導入した高効率な空調設備において削減した電力又は化石燃料の使用量を基にCO<sub>2</sub>排出削減量を算定し、J-クレジットを創出します。そして、創出されたJ-クレジットを必要な地域や企業等に販売して得られた収益を還元することで、中小企業等の皆様は投資回収の前倒しや新たな活動の原資とすることが可能となります。

# 参加しやすい仕組み「空調プロジェクト」

プロジェクト参加に費用はかかりません。最低限の事務作業でクレジット創出が可能に！



- ✓ 追加投資なしで保有設備の環境価値を収益化 / 書類提出業務などもサポートいたします！
- ✓ 省エネによるCO2削減効果を収益還元！新たな価値を産み出しながら脱炭素に貢献！！

| 空調設備の規模     | 年間CO2排出削減量 | 年間還元額       | 8年間累計     |
|-------------|------------|-------------|-----------|
| 小規模（店舗）※1   | 約2t-CO2*   | 約4,000円/年*  | 約32,000円  |
| 中規模（オフィス）※2 | 約15t-CO2*  | 約30,000円/年* | 約240,000円 |

(※1) GHPを1台新設した場合の目安です。

(※2) 5馬力の業務電気用エアコンを10台更新した場合の目安です。

\* 削減量や年間還元額は、設備仕様やクレジットの市場状況等により変動するため、概算値であることを申し添えます。

# 中小企業の皆様の参加メリット



1

## 光熱費の削減

最新の省エネ空調機器で消費電力を抑え、ランニングコストを大きく低減



2

## 新たな収益確保による投資回収の前倒し

投資回収を前倒しして、次の活動原資とする



3

## 脱炭素活動への貢献

環境への取組に関する貢献を対外的にPR可能



4

## 費用・手間が最小限

クレジット創出～収益化までクレアトゥラがサポートします

## その他取組事例：TikTok動画配信等 – カーボンクレジットの認知度向上の取組み

### ◆取組内容①：TikTok動画の配信 **カーボン・クレジットを動画で直感的に理解できます！**

- » 取組背景：カーボンクレジット(C-クレジット)という言葉が世間一般に認知されていないことに加え、新しい取組に対する抵抗感などを抱く方が多い。  
このため、家庭や若年層を通じた認知度を高めることに取り組み、カーボンクレジットに関する理解を浸透させる取組を実施中。
- » 主な内容：TikTokにおけるショート動画配信（URL：<https://www.tiktok.com/@creattura11>）  
1編60秒程度とし、面白く・分かりやすく伝えることを意識しています。

▽こちらからも視聴可能です▽



### ◆取組内容②：コラムの配信 **カーボン・クレジットをより分かりやすく解説しています！**

- » 取組背景：企業や自治体の担当者において、「そもそもカーボンクレジットが分からない」、「制度が複雑なため、正しく理解できているか不安」といった声を良く耳にします。  
グリーンウォッシュの懸念解消等に役立てていただくため、継続的に専門的なコラムを発信しています。
- » URL：[https://creattura.com/news?389cf06b\\_page=2&9d430075\\_page=2#to-columns](https://creattura.com/news?389cf06b_page=2&9d430075_page=2#to-columns)

Column

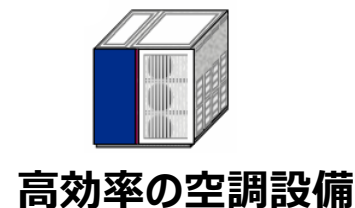
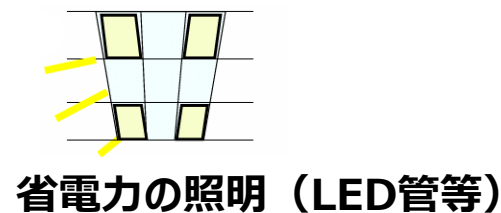
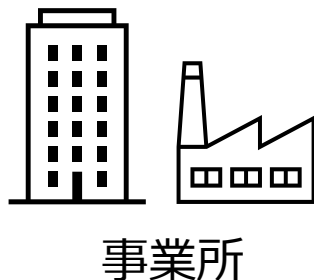
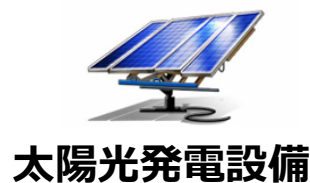
2026.7.13

【カーボンクレジットを学ぼう】第6章-1 カーボンクレジットの活用事例 – 企業の活用事例 – クレジットは「最後のピース」



## お申込み/お問い合わせ先

空調設備に加えて、貴社の様々な設備からのクレジット創出に対応しております！



お気軽にお問い合わせください

メールアドレス : [CarbonSynergy@creattura.com](mailto:CarbonSynergy@creattura.com)

URL: <https://www.carbon-sc.com/contact>





**Creattura**

---

ありがとうございました

✉ [CarbonSynergy@creattura.com](mailto:CarbonSynergy@creattura.com)

🌐 [www.creattura.com](http://www.creattura.com)

